

活用事例	9 隣接する学校との合同避難訓練 【特色】幼稚園・小学校・中学校の合同避難訓練、防災給食の提供		
学校名	和木町立和木幼稚園・和木小学校・和木中学校		
日時	平成25年6月28日（金） 10:44～		
場所	幼稚園・小中学校 八幡山公園	参加者	園児・児童・生徒・教職員

1 訓練のねらい

- (1) 幼小中が合同に避難訓練を行うことで、相互に連絡を取り合いながら協力して避難することができる。
- (2) 地域の避難場所を知ることで、学校管理外の場面においても、自分の命や他の命を守る行動をとることができる。
- (3) 参加者の意見を集め、課題点を明らかにする。

2 訓練の概要

- (1) 10:44 緊急地震速報（教育委員会から各学校へ連絡）
- (2) 10:46 高台への避難連絡（教育委員会から各学校へ連絡）
- (3) 10:46 校内放送により児童生徒避難



和木小学校（八幡山公園へ）



和木幼稚園・和木中学校
（山の手町営住宅山道）



海拔20mの立札を目印

- (4) 11:10 安全を確認し、下山し学校に戻る。
※ 消防隊員による指導講評
- (5) 11:45 防災給食（乾パン、豚汁、冷凍ミカン、牛乳）



3 訓練の成果と課題

【成果】

- ◇ 2年続けての合同避難訓練ということで、児童生徒・教職員を含めて、災害が起こった時の避難経路を確認することができた。
- ◇ 中学3年生が幼稚園年長の園児と手をつないで避難したり、小学校6年生は1年生と避難したりすることで、和木町が進めている幼小中連携の大きな柱である「心の教育」の推進にも繋がる訓練となった。

【課題】

- ◆ 実際に起きた時には、園児・児童生徒を保護者に引き渡すのか、別々に避難させるのか等、保護者との連携も視野に入れて、次回の訓練に向けて計画案を練り直す必要がある。